

令和 8 年度 豊明市立沓掛小学校 第 1 回学校運営協議会議事録

令和 8 年 6 月 1 1 日（木） 1 0 : 0 0 ～ 1 1 : 3 0

校長室

1 はじめに

（１）令和 8 年度運営協議会委員について

○自己紹介

（２）会長・副会長について

○会長 … P T A 会長

○副会長 … 元 P T A 会長

2 校長挨拶

日頃より本校の教育活動への支援に感謝。運動会の参観に対するお礼。

情報化の進展・価値観の多様化に伴い、本校では培われてきた伝統に新しい時代の波を取り入れながら「ゆたかな心 強いからだ」を目指していく。

3 学校運営協議会の概要説明 県教委資料と豊明市学校運営協議会規則で説明

4 議事

学校運営に関する基本的な方針

（１）教育課程の編成に関すること

（愛日で）決められたように確実に遂行。特別支援学級は特性に合わせて定めている。

（２）学校経営計画に関すること

「持続可能な社会の創り手となるため」を入れた。

校訓に合わせて 4 つのめざす児童像

「よく考えくふうする子」「礼儀正しくおもいやりのある子」「ねばり強くやりぬく子」

「健康でたくましい子」

重点努力目標は 4 つ

・ ICT の効果的活用

・ 日常的な挨拶を徹底し「訊く」を大切にすること

・ 「わからない」を中心に捉えた学び合いを土台にすること

・ 縦と横のつながりを生かす地域の教育的資源や支援の推進

○学校行事について

5 月運動会、1 0 月 5 年野外活動、1 1 月 6 年修学旅行、各学年 2 学期校外学習

(3) 学校予算の執行に関すること 資料にて説明

通信運搬費は切手代等、手数料はクリーニング代や作業代であることを補足。

(4) 施設管理及び施設設備等の整備に関すること

昨年度、体育館とハッピースマイルルームにエアコンが設置。

新館のトイレがすべて洋式に。不審者対応として校門がオートロック式に。

(5) 業務量管理・健康確保措置の実施に関すること

目標：県の働き方改革の方針として、時間外在校時間を月 45 時間から 30 時間に削減
先生が子どもと向き合う時間を確保する。

5 質疑応答・意見交換

(委員) 学校の教育目標は先生だけでつくるのではなくて、ここで話し合われたことを踏まえてつくっているのか。

<学校> 昨年第 3 回の協議会で話し合われたことを踏まえ、参考にしながらつくっている。

(委員) 重点努力目標の達成については、昨年の評価をもとにつくっているということか。

<学校> アンケート結果を考慮して目標の見直しをしている。

6 学校運営に関する基本的な方針の承認

賛成多数で承認された。

7 熟議

<熟議のテーマ>

地域を大切にできる子どもに育てるためには何が必要だろうか。

地区ごとに 10 分程度話し合い、それぞれから意見を伺った。

(委員 A) 伝統の棒の手も続いている。しかし子ども会が終わると参加が減ってしまのが残念。長い目で大人が変わっていければよい。

(委員 B) 子ども会と蜜に関わっている。夏祭りは中学生になると来ない。世代交代があまりうまくいっていない。

(委員 C) 協力体制はバッチリできている。土曜会は、今は野菜を作っている。見守り隊も関わっている。

(委員 D) 挨拶ができるということは、「助けて」も言える。基本的に挨拶は親が教えるものであるが、子どもからたとえ返事がなくても、挨拶は言い続けることが大切だ。子ども会が情熱を注いでいる。豊明はよいところで、名古屋から転居してきて、隣の人も声かけてくれてありがたい。

(委員 E) 声かけあえるようにするにはどうするか、考えている。

(委員 F) 子ども会はやめたい人ばかり。子ども会が元気だと町内会が活発になる。やめ

ることは簡単だが、たいへんだからやることが大事。学校行事以外の日々の活動を大切にしたい。

(委員 G) 小さいときにいかに楽しかったか、小中学校の生活が大切だ。楽しく過ごした子は地域でもがんばれる子になる。

(委員 H) 杳小の子は挨拶できる。こっちが挨拶する前にできる。大人は知らない人に挨拶しない。子どもの挨拶をベースにするとよい。

(委員 I) 我が子は学校が好きな子だと思っていて、今もずっとつきあっている友達がいる。違う保育園に通っていた仲間同士で今も交流していて、育ちの中で地域のつながりができていた。

(委員 J) 杳小はつながっている。おじいちゃんおばあちゃんたちに自然に生活の中で教えてもらっている。子どもが地域の行事に参加したがるないことがあっても連れていけば楽しいと言う。経験が減った分、親がやらせていくことが大事。

(委員 K) 地域のつながりがあるほうがよい。ゴミ 0 活動のときに子どもも参加したら楽しそうにやっていた。残していけるとよい。

(委員 L) コロナ前は草刈りで集まっていたが、子どもは来ていない。子どもが何かの形で関われるとよい。新しい方が入ってきててもつながりが難しい。

(委員 M) 地域のつながりの希薄化。子ども会がなくなった。子ども会にも保護者がいかなければならないということが負担になっている。これは町内会の課題でもあると思う。学校行事の中で地域と関われるとよい。地域の助けを借りて、できることをできるときにやっていく。

8 連絡・その他

○ e メッセージ登録のお願い

○ 第 2 回 11 月 17 日 (火) 11 : 00 ~

第 3 回 2 月 9 日 (火) 9 : 00 ~

○ 添付資料

- ・ 豊明市学校運営協議会規則改訂版
- ・ 愛知県教育委員会のリーフレット
- ・ R 7 年度第 3 回議事録
- ・ 学校通信 4・5・6 月号